

この記事・写真等は朝日新聞社の許諾を得て転載しています。
無断で複写・転載することを禁じます。

2002年9月18日(水) 朝日新聞

民主党

今の政治は二つの派が争っているように見えます。改革推進派と背後に特定の利益集団が存在する利益誘導派です。政党を問わず、改革派は構造改革による効率化を主張していて、小泉首相も鳩山由紀夫さんも同じです。だから、政策の内容よりも実行力が焦点にな

り、「民主党ならでき」と言われても、説得力が足りません。利益誘導派と言うと民主党の族議員が頭に浮か

を」というと聞こえはいいが、ある集団から別の集団への(利権の)再分配に過ぎません。一方で、改革派の一部は、利益誘導派なので

類などをリサイクル可能な材質に規制すればいい。大きな市場が生まれ、新規投資も必要になるから、雇用も増え、企業ももつかる。税収も増え環境も良くなる。



大阪大教授(経済学) 小野善康さん

起業アイデアで競え

びますが、労働組合を背景にする民主党内のグループや公明党、共産党も自分の支持層の利益を優先させる点では同じ。「公共事業を抑えて福祉

民主党は、不況克服のために何を削るかではなく、何を始めるかというアイデアで競って欲しい。一部の利益ではない、誰も苦めない政策をアピールすれば、党内もまとまるし、多くの支持も得られると思えます。